

 **ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP**
www.asiaroadracing.com





公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：2019 アジアロードレース選手権シリーズ 第4戦
- 日程：2019年6月28日(金) フリー走行・公式予選
29日(土) 公式予選・決勝レース
30日(日) 決勝レース
- 主催：株式会社モビリティランド
一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会 (MFJ)
- 後援：スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(2輪用:5.821km)
- 天候・動員：6月29日(土) 曇り 28.3℃ 8,100人
30日(日) 雨 27.2℃ 6,800人
計 14,900人

【2018年実績】

- 6月2日(土) 快晴 24.6℃ 7,500人
- 3日(日) 薄曇り 24.5℃ 13,500人
- 計 21,000人

※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

【メディア概要】

- 取材者数：6カ国 38媒体 53名

アジアの熱い走りが今年も鈴鹿サーキットに

1996年にその歴史の幕を開けた「アジアロードレース選手権」。24年目のシーズンとなる今年は、マレーシアでの開幕戦を皮切りに、オーストラリア、タイ、日本(鈴鹿)、中国、マレーシア、タイと各国を転戦して全7戦のシリーズ戦として争われます。鈴鹿サーキットでは2013年以来7度目の開催となり、アジア、オセアニアを中心にヨーロッパライダーも加わり、14の国と地域の選手が集結しました。開催カテゴリーは、今季初開催となる最高峰のASB1000(Asia Super Bike 1000cc)をはじめ、市販スポーツバイクベースのSS600(SUPERSPORTS 600cc)、アジア市場の人気を集める市販250ccスポーツバイクベースのAP250(ASIA PRODUCTION 250cc)、アジアで盛んなUB150(UNDERBORNE 150cc)の4クラス。世界を目指す選手達の激しいバトルが全クラスで繰り広げられました。



鈴鹿サーキット公式ウェブサイト

<https://www.suzukacircuit.jp/>

アジアロードレース選手権公式ウェブサイト

<http://www.asiaroadracing.com/>



SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIIE 510-0295,JAPAN
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【ASB1000】 レース1

ポールポジションのザクワン・ザイディ(マレーシア)に続いて5番グリッドスタートのアズラン・シャー・カマルザマン(マレーシア)と4番グリッドスタートのブロック・パークス(オーストラリア)が序盤のトップ争いを演じました。パークスはオーバーランで一度は順位を落としたもののハイペースで追いつき、ついに12周目にトップに浮上。ところがその周にヘアピンで再度オーバーランし、2位に後退。しかし翌週の1コーナーでトップのザイディがオーバーラン。パークスがトップに返り咲き、そのまま今季2勝目を挙げました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	ブロック・パークス	YAMAHA Racing Team ASEAN	YAMAHA YZF-R1M
2位	ザクワン・ザイディ	HONDA Asia Dream Racing with Showa	Honda CBR1000RR SP2
3位	アズラン・シャー・カマルザマン	ONEXOX TKKR SAG Team	BMW S1000 RR



【ASB1000】 レース2

ウェット路面となったレース2。ザイディが飛び出すも、ラタボン・ウィライロー(タイ)、中富伸一にかわされ後退。さらにパークス、伊藤勇樹らも加わってのトップ争いが展開されました。3周目に中富がトップを奪いますが、5周目に伊藤が逆転。ウィライローも中富に迫ります。しかし、中富はスパートをかけ、7周目にトップに返り咲くと後続を引き離し、そのままトップチェッカーへとマシンを運びました。激しい2位争いを制したのはパークス、3位に伊藤が入りました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	中富伸一	HITMAN RC-KOSHIEN YAMAHA	YAMAHA YZF-R1
2位	ブロック・パークス	YAMAHA Racing Team ASEAN	YAMAHA YZF-R1M
3位	伊藤勇樹	YAMAHA Racing Team ASEAN	YAMAHA YZF-R1M



※タイヤはダンロップのワンメイク

【SS600】



【レース1】
南本宗一郎



【レース2】
ピラボン・ブーンラット(タイ)

【AP250】



【レース1】
アンディ・ムハマド・ファドリ(インドネシア)



【レース2】
アーウィン・サンジャヤ(インドネシア)

【UB150】



【レース1】
グピタ・クレスナ(インドネシア)



【レース2】
アルディ・サトゥヤ・マヘンドラ(インドネシア)

※詳細なリザルトは右記をご参照ください。 鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <https://www.suzukacircuit.jp/> アジアロードレース選手権公式ウェブサイト <http://www.asiaroadracing.com/>

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

イベント&プロモーションシーン



SS600レース1スタート前にYAMAHAのゲストの皆さまをご招待して実施されたグリッドウォーク(29日)。



二週連続で開催されたアジアンレースのメインビジュアルが浮かび上がるトラックアート(GPレセプション手前)。



ピットビル2階のホスピタリティラウンジの一部のテラス席を無料開放、迫力の走りをピット上から楽しみいただきました。



鈴鹿サーキットホテルでの挙式に続き、レースのインターバルに国際レーシングコースをパレードいただいたカップルのお二人(29日)。



レース運営の中核であるコントロールタワーや表彰台(写真)をご体験いただいた「バックヤードツアー」(29日)。

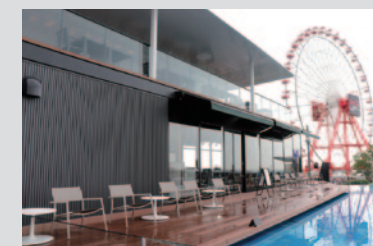


NPO法人「鈴鹿モータースポーツ友の会」会員を対象とした特別観戦会。施設見学に加えて元チーフオフィシャルのトークやピット訪問も楽しみいただきました(30日)。

PICK UP 1 最終コーナーに新たな絶景観戦スポット「COURSE VIEW TERRACE」が7月13日(土)オープン。



最終コーナー R席最上段に新設された屋根付きボックス席「R-BOX」。



三重県産食材を使用したジェラートやオリジナルピザが楽しめる「COURSE SIDE PIZZERIA -GRAN VIEW-」。

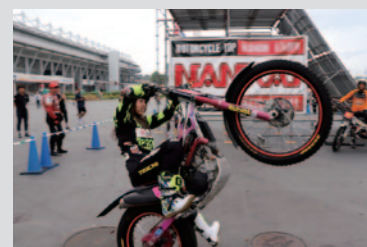
PICK UP 2 南海部品株式会社様主催によるバイクイベント「NANKAIライダーズMEET in 鈴鹿サーキット」が開催され、多彩なコンテンツをバイクファンにお楽しみいただきました。



レジェンドライダー平忠彦さんのトークショーとサイン会。



NANKAIサポートライダーの皆さんのサイン会。



小玉絵里加選手(写真)、藤原慎也選手によるトライアルデモンストレーション。



モトブlogger Mi-RIDERさんのトークショー。

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【公式プログラムご協賛】



A4 カラー20p 無料で配布いたしました。

株式会社オフィスとらくしよん

住友ゴム工業株式会社

BHJ Co., Ltd.

【PRブースご出展】



株式会社アールエスタイチ

株式会社クシタニ

株式会社ヒョウドウプロダクツ

【サーキットビジョンご協賛】



BHJ Co., Ltd.

【ホスピタリティラウンジご利用】

TWO WHEELS MOTOR RACING
ヤマハ発動機株式会社

【NANKAIライダーズMEET in 鈴鹿サーキット開催】



南海部品株式会社

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,AMIE 510-0295,JAPAN
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2019年11月1日現在

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435